

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【公表番号】特表2014-525966(P2014-525966A)

【公表日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2014-054

【出願番号】特願2014-522901(P2014-522901)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 183/08 (2006.01)

C 09 J 201/00 (2006.01)

C 09 J 107/00 (2006.01)

【F I】

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 183/08

C 09 J 201/00

C 09 J 107/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

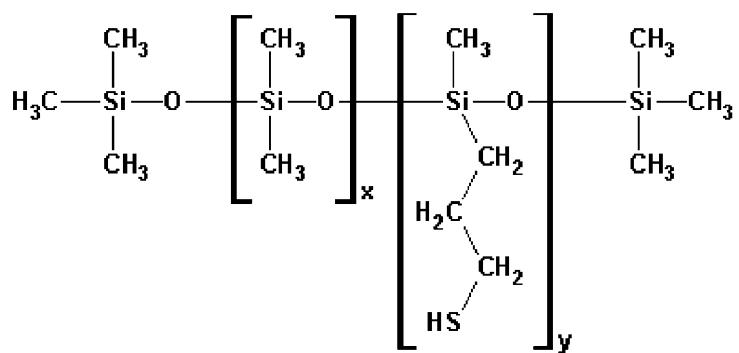
【請求項1】

手で引き裂くことができるマスキングテープであって、  
長手方向軸、並びに横方向幅及び軸を含み、第1の主要面、及び相対して面する第2の  
主要面を含む、ポリオレフィン支持体を備え、

前記支持体の第2の主要面上に感圧接着剤が配置され、前記支持体の前記第2の主要面  
は、複数の脆弱線を含む微細構造を有する手で引き裂くことができるパターンを含み、前  
記脆弱線の少なくともいくつかが、前記支持体と少なくともほぼ横方向に向けられた長軸  
を含み、

低接着バックサイズは、前記支持体の前記第1の主要面上に配置され、前記低接着バッ  
クサイズは、式I I a、I I b、又はI I cの一般式を有するメルカブト官能性シリコ  
ンマクロマーの、1つ以上の(メタ)アクリルモノマー及び/又はオリゴマー、並びにビ  
ニルモノマー及び/又はオリゴマーとの反応生成物を含み、

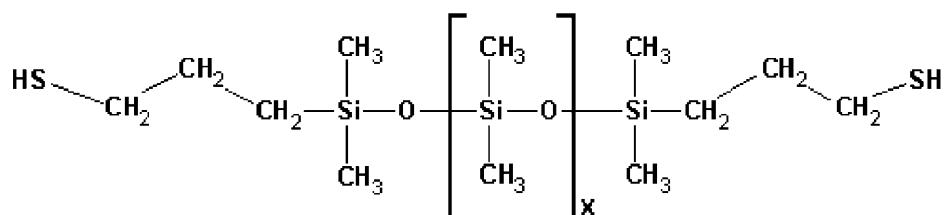
## 【化1】



$$x = 20 \sim 1000 \text{ 及び } y = 1 \sim 10$$

式 I I a

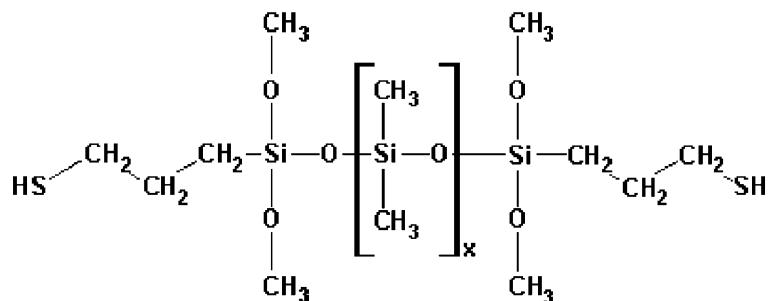
## 【化2】



$$x = 20 \sim 1000$$

式 I I b

## 【化3】



$$x = 20 \sim 1000$$

式 I I c

あるいは、前記シリコーンマクロマーの組み合わせ又は混合物、若しくはいずれかを備える、テープ。

## 【請求項2】

第2の表面部分を塗装しないようにマスキングした状態で第1の表面部分を塗装する方法であつて、

一定の長さの請求項1の前記手で引き裂くことができるマスキングテープを、前記第2の表面部分に接着剤により取り付ける工程と、次いで液体塗料を少なくとも前記第1の表面部分に適用する工程とを含む、方法。